

令和7年度 熊本県介護支援専門員実務研修

「課題整理総括表への展開」

適切なケアマネジメント手法を用いた再アセスメントの視点

演習資料

課題整理総括表<基本ケア>

利用者名 様

作成日 年 月 日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向	
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
						見通し ※5
						生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】 ※6
	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	II-3-4 コミュニティでの役割を整えることの支援 ・本人の麻痺の状況（麻痺の有無、麻痺の内容と程度（麻痺によりできない動作、温度感覚の麻痺など）、麻痺による生活への影響の有無など） ・本人のストレングス ・本人の趣味・嗜好 ・本人の日次（24時間）の生活リズム・過ごし方 ・自宅の間取り（部屋の配置、階段・段差の有無、外構の状況など） ・自宅内での本人の生活習慣（よくいる場所、動線、日課など） ・自宅内の動線（日常的に過ごす場所、寝室と居室の移動、居室とトイレ・洗面所の移動など） ・ADL/IADLの状態（している動作、していない動作、できる動作、できない動作、できると思われる動作、それらの維持・改善の見込みなど） ・日常的な活動の状況（日常的な活動の機会の有無、内容、負荷の度合い、活動量※リハビリテーションだけでなく生活動作を含むなど） ・日常的な運動の状況（日常的な運動（体操、散歩など）の機会の有無、頻度、内容、運動の時間など） ・運動・活動を妨げる要因 ・活動を支援する福祉用具の活用 ・疾患発症後の日常生活における家庭内での本人の役割 ・疾患発症後の日常生活における地域・社会（家庭外）での本人の役割 ・本人の残存能力とリハビリテーションによる回復の予測 ・役割を実現するために必要な環境支援
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
服薬	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
入浴	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
更衣	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
掃除	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
洗濯	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
整理・物品の管理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
金銭管理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
買物	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
コミュニケーション能力	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化		
認知	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化		
社会との関わり	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化		
褥瘡・皮膚の問題	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化		
行動・心理症状(BPSD)	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化		
介護力(家族関係含む)	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化		
居住環境	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化		
				改善 維持 悪化		

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

課題整理総括表<基本ケア>

利用者名 様

作成日 年 月 日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③		
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
買物		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
認知		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
居住環境		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
					改善 維持 悪化	

利用者及び家族の 生活に対する意向	
----------------------	--

見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6

【整理・物品の管理】
I-2-2 意思の表明の支援と尊重
 ・意思決定支援に対する家族等の理解度
 ・意思決定に関する本人の想い、不安の状況
 ・本人が有する意思決定能力の状況
 ・キーパーソン（本人の意思決定を支援しうる人）の有無、本人との関係性
 ・本人の意思決定支援のために活用しうる地域の社会資源の有無、サービス内容、利用状況

II-3-3 家庭内での役割を整えることの支援
 ・本人の残存能力とリハビリテーションによる回復の予測
 ・役割を担うことに対する家族等や支援者等による支援の状況
 ・本人の役割の実現を支えているインフォーマルサポート

【金銭管理】
I-2-2 意思の表明の支援と尊重
 ・意思決定支援に対する家族等の理解度
 ・意思決定に関する本人の想い、不安の状況
 ・本人が有する意思決定能力の状況
 ・金銭管理の状況
 ・キーパーソン（本人の意思決定を支援しうる人）の有無、本人との関係性
 ・本人の意思決定支援のために活用しうる地域の社会資源の有無、サービス内容、利用状況

II-1-4 心身機能の維持・向上の支援
 ・ADL/IADLの状態（している動作、していない動作、できる動作、できない動作、できると思われる動作、それらの維持・改善の見込みなど）

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

課題整理総括表<基本ケア>

利用者名 _____ 様

作成日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③		
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
室内移動	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
食事	食事内容	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化		
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化		
服薬	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
入浴	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
更衣	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
掃除	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
洗濯	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
整理・物品の管理	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
金銭管理	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
買物	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化			
コミュニケーション能力	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化			
認知	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化			
社会との関わり	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化			
褥瘡・皮膚の問題	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化			
行動・心理症状(BPSD)	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化			
介護力(家族関係含む)	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化			
居住環境	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化			
			改善 維持 悪化			

利用者及び家族の 生活に対する意向	
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】 ※6

【認知】

I-1-2 現在の生活の全体像の把握

- ・本人・家族等が望む生活・暮らし（1日／1週間の過ごし方、月単位・年単位のイベント）
- ・望む生活・暮らしにおいて本人が希望する活動（現在できること、現在できないが実現したいこと、がまん・あきらめの有無、内容など）
- ・望む生活と生活制限との間で本人・家族等が感じているジレンマ
- ・認知機能の程度、日常生活における障害の有無
- ・ADL/IADLの状態（している動作、していない動作、できる動作、できない動作、できると思われる動作、それらの維持・改善の見込みなど）
- ・本人の日次（24時間）の生活リズム・過ごし方
- ・自宅内での本人の生活習慣（よくいる場所、動線、日課など）
- ・日常的な運動の状況（日常的な運動（体操、散歩など）の機会の有無、頻度、内容、運動の時間など）
- ・日常の活動の中で本人が感じる違和感（自覚症状の有無、程度、内容など）
- ・疾患発症後の日常生活における地域・社会（家庭外）での本人の役割
- ・（同居者がいる場合）同居者による本人の生活リズムの把握状況
- ・本人の状態を把握する体制（同居者、支援者、事業者など）
- ・家庭での役割を担い続けるうえでの認知症の影響の現れ方
- ・地域での役割を担い続けるうえでの認知症の影響の現れ方
- ・金銭管理の状況
- ・本人の役割の実現を支えているインフォーマルサポート
- ・日常的な活動の状況（日常的な活動の機会の有無、内容、負荷の度合い、活動量※リハビリテーションだけでなく生活動作を含むなど）
- ・自宅内の転倒リスクの評価及び対応状況（住宅改修、福祉用具の利用、片付けなど）

I-2-2 意思の表明の支援と尊重

- ・日常生活における意向の表明の状況
- ・日常生活における決定に対する本人の関与や関心の大きさ
- ・日常生活における決定を実質的に誰がしているか
- ・意思決定支援に対する家族等の理解度
- ・意思決定に関する本人の想い、不安の状況
- ・本人が有する意思決定能力の状況
- ・キーパーソン（本人の意思決定を支援しうる人）の有無、本人との関係性
- ・本人の意思決定支援のために活用しうる地域の社会資源の有無、サービス内容、利用状況

I-2-3 意思決定支援体制の整備

- ・本人の代理として意思決定しうる人の有無、本人との関係性
- ・意思決定支援チームとして関わりうる人（※専門職だけでなく、地域住民なども含めて捉える）
- ・意思決定支援チームでの情報共有体制
- ・意思決定支援チームによる支援の方法、タイミング

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠して記載する。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(数字)を記入する。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

課題整理総括表<心疾患>

利用者名 _____ 様 _____ 作成日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)	①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向
	④	⑤	⑥	

状況の事実 ※1		現在 ※2				要因※3	改善/維持の可能性※4	基Ⅱ-3-4 コミュニティでの役割を整えることの支援 ・本人のストレングス ・本人の趣味・嗜好 ・自宅の間取り（部屋の配置、階段・段差の有無、外構の状況など） ・自宅内の動線（日常的に過ごす場所、寝室と居室の移動、居室とトイレ・洗面所の移動など） ・活動を支援する福祉用具の活用 ・疾患発症後の日常生活における家庭内での本人の役割 ・本人の残存能力とリハビリテーションによる回復の予測 ・役割を実現するために必要な環境支援 1-2-6 非日常的な活動のリスクの管理 ・家族等や介護者の関わり状況（声かけが必要な場面、声かけをしている人、家族等生活リズムなど） 1-3-1 負荷のかかる環境の改善 ・環境改善に関する本人・家族等の意向 ・本人の麻痺の状況（麻痺の有無、麻痺の内容と程度（麻痺によりできない動作、温度感覚の麻痺など）、麻痺による生活への影響の有無など） ・ADL/IADLの状態（している動作、していない動作、できる動作、できない動作、できると思われる動作、それらの維持・改善の見込みなど） ・自宅内での本人の生活習慣（よくいる場所、動線、日課など） ・室内の状況（温湿度環境、家具や物の配置、照度など）※寝室、居室、トイレ、洗面所など各々 ・環境改善に関する支援の必要性 ・環境改善に関する本人・家族等の意向 ・疾患とその治療に関する医師からの指示・指導の有無、指導の内容（疾患の基本的な内容、治療方針、日常生活での留意事項、日常生活での制限の有無、日常生活で管理すべき事項の説明、判断の目安に関する説明など） ・自宅内で負荷がかかる行動や環境の有無及び対応状況（段差・階段、洗濯行為におけるうつむいたり持ち上げたりする動作など） ・環境改善に関する支援の必要性 2-1-1 活動と参加に関わる能力の維持・改善 ・活動しないことに関するリスクへの本人・家族等の理解度 ・現在の社会的活動に関する本人・家族等の意向 ・望む生活・暮らしにおいて本人が希望する活動（現在できること、現在できないが実現したいこと、がまん・あきらめの有無、内容など） ・認知機能の程度、日常生活における障害の有無 ・本人の日次（24時間）の生活リズム・過ごし方 ・日常的な活動の状況（日常的な活動の機会の有無、内容、負荷の度合い、活動量※リハビリテーションだけでなく生活動作を含むなど） ・日常的な運動の状況（日常的な運動（体操、散歩など）の機会の有無、頻度、内容、運動の時間など） ・日常の活動の中で本人が感じる違和感（自覚症状の有無、程度、内容など） ・（他の職種やサービス事業者からの報告に基づく）サービス利用中の本人の状況 ・活動制限に関する医師からの指示・指導の有無、活動制限の内容・程度（禁止なのか、一定の状態になったら中止なのかなど、活動制限の基準（制限や中止すべき息切れ疲れなどの目安）） ・疾患とその治療に関する医師からの指示・指導の有無、指導の内容（疾患の基本的な内容、治療方針、日常生活での留意事項、日常生活での制限の有無、日常生活で管理すべき事項の説明、判断の目安に関する説明など） ・医師からの指示・指導の有無、指導の内容（日常生活での制限の有無、日常生活での留意事項、判断の目安に関する説明など） ・（同居者がいる場合）同居者による本人の生活リズムの把握状況・自宅内で負荷がかかる行動や環境の有無及び対応状況（段差・階段、洗濯行為におけるうつむいたり持ち上げたりする動作など） ・医師及び専門職からの指導内容に対するサービス事業者の理解度 ・関係する専門職・サービス事業者間での情報共有の方法、情報共有が求められる内容、情報共有のタイミング
状況の事実 ※1	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
認知		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
居住環境		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	
喫煙・飲酒		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化	

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠して
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(数字)を
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

課題整理総括表<心疾患>

利用者名 _____ 様 _____ 作成日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③	利用者及び家族の 生活に対する意向			
		④	⑤	⑥	見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6	
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)
	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	<p>基Ⅰ-2-2 意思の表明の支援と尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援に対する家族等の理解度 ・意思決定に関する本人の想い、不安の状況 ・本人が有する意思決定能力の状況 ・キーパーソン(本人の意思決定を支援しうる人)の有無、本人との関係性 ・本人の意思決定支援のために活用しうる地域の社会資源の有無、サービス内容、利用状況 <p>基Ⅱ-3-3 家庭内での役割を整えることの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の残存能力とリハビリテーションによる回復の予測 ・役割を担うことに対する家族等や支援者等による支援の状況 ・本人の役割の実現を支えているインフォーマルサポート <p>基Ⅰ-2-2 意思の表明の支援と尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援に対する家族等の理解度 ・意思決定に関する本人の想い、不安の状況 ・本人が有する意思決定能力の状況 ・金銭管理の状況 ・キーパーソン(本人の意思決定を支援しうる人)の有無、本人との関係性 ・本人の意思決定支援のために活用しうる地域の社会資源の有無、サービス内容、利用状況 <p>基Ⅱ-1-4 心身機能の維持・向上の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ADL/IADLの状態(している動作、していない動作、できる動作、できない動作、できると思われる動作、それらの維持・改善の見込みなど)
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
買物		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持	悪化	
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
認知		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
居住環境		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	
喫煙・飲酒		支障なし 支障あり			改善	維持	悪化	

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

課題整理総括表<心疾患>

利用者名 _____ 様 _____ 作成日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③
		④	⑤	⑥
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3
		改善/維持の可能性※4		備考(状況・支援内容等)
	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
食事	食事内容	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
買物		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
認知		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
社会との関わり		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
居住環境		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
喫煙・飲酒		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化

利用者及び家族の 生活に対する意向	
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】 ※6

【認知】
基 I-1-2 現在の生活の全体像の把握
 ・本人・家族等が望む生活・暮らし（1日/1週間の過ごし方、月単位・年単位のイベント）
 ・望む生活・暮らしにおいて本人が希望する活動（現在できること、現在できないが実現したいこと、がまん・あきらめの有無、内容など）
 ・望む生活と生活制限との間で本人・家族等が感じているジレンマ
 ・認知機能の程度、日常生活における障害の有無
 ・ADL/IADLの状態（している動作、していない動作、できる動作、できない動作、できると思われる動作、それらの維持・改善の見込みなど）
 ・本人の日次（24時間）の生活リズム・過ごし方
 ・自宅内での本人の生活習慣（よくいる場所、動線、日課など）
 ・日常的な運動の状況（日常的な運動（体操、散歩など）の機会の有無、頻度、内容、運動の時間など）
 ・日常の活動の中で本人が感じる違和感（自覚症状の有無、程度、内容など）
 ・疾患発症後の日常生活における地域・社会（家庭外）での本人の役割
 ・（同居者がいる場合）同居者による本人の生活リズムの把握状況
 ・本人の状態を把握する体制（同居者、支援者、事業者など）
 ・家庭での役割を担い続けるうえでの認知症の影響の現れ方
 ・地域での役割を担い続けるうえでの認知症の影響の現れ方
 ・金銭管理の状況
 ・本人の役割の実現を支えているインフォーマルサポート
 ・日常的な活動の状況（日常的な活動の機会の有無、内容、負荷の度合い、活動量※リハビリテーションだけでなく生活動作を含むなど）
 ・自宅内の転倒リスクの評価及び対応状況（住宅改修、福祉用具の利用、片付けなど）

基 I-2-2 意思の表明の支援と尊重
 ・日常生活における意向の表明の状況
 ・日常生活における決定に対する本人の関与や関心の大きさ
 ・日常生活における決定を実質的に誰がしているか
 ・意思決定支援に対する家族等の理解度
 ・意思決定に関する本人の想い、不安の状況
 ・本人が有する意思決定能力の状況
 ・キーパーソン（本人の意思決定を支援しうる人）の有無、本人との関係性
 ・本人の意思決定支援のために活用しうる地域の社会資源の有無、サービス内容、利用状況

基 I-2-3 意思決定支援体制の整備
 ・本人の代理として意思決定しうる人の有無、本人との関係性
 ・意思決定支援チームとして関わりうる人
 （※専門職だけでなく、地域住民なども含めて捉える）
 ・意思決定支援チームでの情報共有体制
 ・意思決定支援チームによる支援の方法、タイミング

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠して記載する。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(数字)を記入する。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

課題整理総括表<心疾患>

利用者名 _____ 様 _____ 作成日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③		
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
買物		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
認知		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
居住環境		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
喫煙・飲酒		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	

利用者及び家族の 生活に対する意向	
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】 ※6

【喫煙・飲酒】

2-1-5 禁煙の実現の支援

- ・禁煙の必要性に対する本人・家族等の理解度及び意向
- ・禁煙の必要性に関する医師からの指示・指導の有無、指導の内容(禁煙の必要性の程度、禁煙が必須なのか推奨なのかなど)
- ・疾患発症前の日常生活における喫煙量、タイミング
- ・禁煙の継続の有無
- ・禁煙が実施できなかった場合の医師への報告方法

2-1-6 本人・家族等への生活習慣を変えることの支援

- ・認知機能の程度、日常生活における障害の有無
- ・生活習慣病の管理・指導に対する本人・家族等の理解度
- ・飲酒量のコントロールに対する本人・家族等の理解度
- ・飲酒に対する本人・家族等の意向
- ・日常生活における飲酒の状況(飲酒の量、飲酒のタイミング、自宅での飲酒か自宅外での飲酒かなど)
- ・疾患とその治療に関する医師からの指示・指導の有無、指導の内容(疾患の基本的な内容、治療方針、日常生活での留意事項、日常生活での制限の有無、日常生活で管理すべき事項の説明、判断の目安に関する説明など)
- ・特に考慮しなければならない生活習慣が何か(例:飲酒、運動など)、変更の重要性(例:絶対だめなのか、努力事項なのか)
- ・生活習慣に対する本人・家族等の理解度(生活習慣を変えなかった場合のリスクの種類・程度など)

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠している。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。